

一般に「歯医者にかかる」といえば虫歯治療。ガリガリ歯を削られて型をとって金属を埋めたり、悪化した歯は神経を抜いて冠をかぶせる、などの治療が思い浮かぶでしょう。さらに進めば歯を抜いてブリッジにしたり入れ歯にしたり…。

歯を失う原因には「虫歯(う蝕)」によるものと「歯周病」によるものがある。特に子供の頃から多くの人を悩ませてきたのが虫歯です。

一度虫歯になれば、削る→埋める→取れる(傷む)→削る…の繰り返しになり、最後は歯を抜いて何らかの処置をしなければならなくなる。これが「スパイラル」というわけです。これらの治療は、社会保険のなかの健康保険を利用するのが一般的。歯の治療は金属を使うことが多いので、コストもかさむ。だから3割負担で済む現在の健康保険はありがたい存在だ。だが、もっと、手間とお金をかけることで、より良い治療が受けられる場合があります。それが「自由診療」です。



やまき歯科クリニックでは、できるだけ「歯を残す」ことをモットーとした治療を行っています。以前は歯髓にまで傷みが広がっていたら、神経を抜く、根管治療を行ったが、新しい薬剤と素材を用いた治療で、生きた歯を残すようにしています。

ただ、こうした治療は保険が効かない場合があり、それだけ治療費がかさむ上、治療にも時間がかかるというデメリットがあります。確かに保険であれば比較的短時間・低予算で済みます。しかし(保険治療に比べれば)ていねいに治療ができる場合もありますし、その結果、歯が守られれば患者さんにとって良い選択になるはずです。

例えば、子供の「初期虫歯」の場合、自由診療を選択することでその子の「歯を失う」スパイラルを初めから防げるかもしれない。

自由診療は、単に美容やせいたくなものではなく、その人の一生をいかに健康で快適に過ごせるかの大事な選択肢の一つといえます。

同じことは、歯を失うもう一つの原因「歯周病」対策にもあてはまります。軽い症状の場合は、保険による治療で治すことができるが、かなり進んだ場合は外科手術が必要になる。その際にも、今は歯周組織を回復させるための技術が進んでおり、最新治療が受けられます。ただ、これは保険適用外で、自由診療となります。

意外にも歯周病が進んでしまう人には、若い頃から「虫歯知らず」の人が多いいです。本質的に虫歯になりにくい人がいることは確かですが、自信があるぶん手入れ不足になり、気づいた時には手遅れ…、となりがちです。そんな場合に頼りになるのが自由診療です。現行の保険制度の問題点といえなくもないが、「自分の身は自分で守る」ための選択肢として知っておいて下さい。

